

第 87 回 薬学会年会の時期と名称

薬学雑誌 1910 年度(第 340 号) C 1-42, C 253, 1890 年度 p 69

私が初めて年会に参加したのは 1985 年の金沢だった。学食のテレビで野球を見た記憶がある。高校野球だったかプロ野球オープン戦だったか覚えていない。しかし会場となった大学が城内にあって石垣にかかる桜が満開だったことは記憶にある。年会は桜の季節だ。

しかし年会が 3 月末もしくは 4 月初めになったのは第 23 回の 1903 年(明治 36 年)からである。それまでは 1 月の第 3 土曜日と決まっていた(例外は第 17 回、英照皇太后(孝明天皇正妃)1897 年 1 月 11 日崩御につき、2 月 13 日に延期したときのみ)。

1 月から 4 月への変更は地方会員の便宜のためであった。明治 22 年の東海道本線開通はじめ鉄道網の発達は著しく、地方会員が上京して参加することも可能となった。しかし冬の正月に旅することはやはり難儀である。4 月は季節もよい。他の学会も開かれており東京の用事も多く、学校関係者も試験休みが使える、と明治 35 年の総会で変更が決まった。以後、桜の年会は続いている。

今年は横浜。公式名称は日本薬学会第 133 年会という。昔は「年会」とはいわなかった。1880 年(明治 13 年)1 月、創立メンバーが神田明神境内の開花楼に集まり、翌 2 月から毎

月第 4 土曜日に月例親睦会を開くことを決めたのは「新年会」である。翌 1881 年 1 月再び全員集まって、月例会参加者の減少を反省し会を学術的なものにしようと決議したのも「新年会」。1883 年 1 月、不忍池弁天社内長蛇亭で雑誌編集、会計などに関する会務報告をしていたのも「新年会」である。しかし翌 1884 年と 1885 年の 1 月、神田三河町三河亭に参集したのは「大会」といった。そして 1886 年以降は「総会」となる。

「年会」とは言わず「大会」「総会」とっていたのは、今のような学術講演会がなく、会務報告、役員選挙、会則改正討議などだけであったからかもしれない(学術講演会は毎月の例会で行われていた)。総会はたいてい午後 1 時から始まり、夕方懇親会に続いた。

また第 133 年会などと数字が入ったのは、明治 23 年の「第 10 回総会」が最初である。「客年まで第何回とは記せざりしが明治 14 年初めて本会を起こしたるを以て本年を 10 回とす」と当時の総会の記事にある。明治 14 年は 1881 年。なるほど 2013 年は 133 回目である。

小林 力